

令和2年度特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘・みどりの丘

事業計画書

I. 事業方針

高齢者が増加する一方で、介護サービスを担う人材はその待遇や環境が課題となり確保が難しい状況は今後もつづくことが予想されます。

有効求人倍率では全職業が1.48倍に対して介護は4.16倍となっています。

改善は見込めない中、外国人材（技能実習生）を積極的に導入しながら受け入れ環境の整備、魅力ある働く現場を作ることで介護職の定着を図ります。

IT・ロボットの活用による働き方改革を導入し効率的で質の高いサービスを提供し「ご利用者様の笑顔と穏やかな暮らし」をこれからも守りつづけていきます。

II. 事業目標

全事業所において「のびのび 明るく 穏やかな暮らし」の施設理念に基づいたサービスを提供し地域に愛され、信頼される唯一無二の施設を目指していきます。

III. 事業実施計画

(1) 介護老人福祉施設事業

① 唯一無二の施設として

オープンから10年間は地域の「選ばれる施設」としての努力を積み重ねてまいりました。ここから20周年目に向かっては「みどりの丘でなければ」と言って頂ける「オンリーワン」の道を歩んでいきたいと思えます。

② アウトカムを意識することで介護のスキルアップに繋げる

前年度より各セクションで「目標」を掲げることに取り組んでまいりましたが今年度はその目標に向かった結果を意識することで数字面の評価だけでなくソフト面の評価を含め介護全体のスキルアップを図っていきます。

③ 高稼働率の維持

みどりの丘の高稼働率は「選ばれる施設」「質の高いサービスの提供」の証と捉えています。今後も地域の高齢者様に安心して頂ける介護施設を目指していきます。

④ 目標稼働率

上記の取り組みにより入居稼働率はユニット96%・従来型93%、空所利用と合わせ、年間稼働率98%を目指します。

(2) 短期入所生活介護事業

前年度同様、ショートステイで待たずして入所するという傾向は継続し、ご利用者様の確保が引き続き困難になることが予想されます。事業所全体での高稼働率の維持を目的とし、差別化を意識して、他の事業所よりも秀でた特色をもつショートステイを目指した事業展開を進めていきます。

① ITの活用、ペーパーレス化による営業促進とサービスの改善

- ・ホームページやフェイスブックを活用した空床情報の発信を速やかに行います。
ITによる情報発信力を促すことで、居宅のケアマネージャへの周知度向上を目指し、高稼働へと繋げていきます。
- ・ペーパーレスにより職員同士の情報共有を効率化することで、ご利用者の方にとってより最適な、みどりの丘ならではのサービスを展開していきます。

② 施設理念に協調する人材育成

施設理念の方向性に沿った職員の育成を目指し、ご利用される方に安心して過ごしていただけるよう、適した接遇マナーを実践し、寄り添い耳を傾けます。

③ 目標設定と成果確認のサイクル

ショートステイとして目標の立案だけでなく、達成度を重視していきます。成果に対して評価し、新たな課題への取り組みを実践するという正のスパイラルを育むことで、職員のスキル向上とサービスの内容の充実を図ります。

④ 目標稼働率

上記の取り組みにより、リピーター率6割、稼働率125%を目指します。

(3) 通所介護事業

① 利用者の在宅生活を支える

利用者様が安心して過ごせる「居心地のよい場所」を提供し、利用者様の生活を支えるサービスとして「唯一無二の存在」となることを目指します。

② サービス内容の充実

チーム全体で専門的知識や技術の習得に努め、サービスの向上に意欲的に取り組んでいきます。また効率よく、質の良いサービスを提供できるよう業務改善の検討を定期的に行い、利用者様に「楽しい。またみどりの丘に行きたい。」と思って頂けるサービスを提供していきます。

③ 営業方針

居宅介護支援事業所との関係を深め、ケアマネージャからの相談や要望に迅速に対応できるようにします。また、必要に応じみどりの丘のショートステイや特養の入所に繋ぐ、パイプ役となれるように努めます。

④ 上記取り組みの結果、平均稼働率 85%を目指します。

(4) 居宅介護支援事業所

在宅で生活されている方、困難になった方が笑顔で過ごせるように、事業所内の連携の強化を続けていきます。

① 居宅介護支援事業所の使命

法人に属している居宅介護支援事業所の使命を念頭に置き、地域で必要とされる唯一無二の事業所として連携を大切にし、相乗効果を生んでいきます。

② 新規利用者確保

地域包括支援センター、行政、医療機関からの信頼関係が新規獲得に繋がります。新規利用者を通所サービス、短期入所サービス、特養に繋ぐ架け橋となるためには、利用者、家族との信頼関係も必要です。信頼関係を積み重ねていくためのプロとして、スキルアップを図ります。

③ 研修等の参加と協力

前年度につづき介護支援専門員更新研修のファシリテーターや介護支援連絡会の幹事推進メンバーとしての取り組みを行ってきました。引き続き公的な研修会議、地域勉強会へ積極的に参加、協力を継続します。

④ マニュアル

書類作成、訪問時にかかる移動時間など、効率よく行えるようにマニュアルの整備を行います。

⑤ 上記の取り組みの結果、稼働率 100%を維持していきます。

IV.介護サービス指針

① 誇りが持てる介護を行う

在宅生活が困難になった方が入居される施設が特養であることを踏まえ
根拠に基づいた正しい介護が行えるよう介護技術の向上を図ります。
国家資格を持つプロの集団としての誇りを持って介護を行っていきます。

② 入居者様に笑顔を

施設への入居日は「人生最期のお引越し」と考えています。
お住まいは変わりますがここから新たな「家としての暮らし」が始まります。
日常の暮らしの中で笑顔になって頂けるような挨拶やていねいな声かけを行って
いきます。楽しみがもてるよう様々なクラブ、イベント活動を行っていきます。

③ 感染症予防に努める

インフルエンザやノロウイルスに対応できるマニュアルをつくり感染予防委員会で
活動してきたが新型コロナウイルスの内容には及んでいないため新しいマニュアルと
感染予防のやり方をしっかり行い入居者様が安心できる環境を作る。

V.提供するサービス内容

(1) 行事・イベント・クラブ活動

4月	お花見（施設周辺）	
5月	みどり杯 棒サッカー大会	筍ご飯
6月	開設記念日	松花堂弁当
7月	七夕	丑の日（うなぎ）
8月	納涼	流しソーメン
9月	敬老会	お祝い御前
10月	みどり杯 棒サッカー大会	秋カフェ
11月	秋まつり	屋台メニュー
12月	クリスマス会	クリスマスメニュー
1月	お正月	おせち・新春カフェ
2月	節分（お相撲さんによる豆まき）	節分メニュー（鯛、大豆）
3月	ひな祭り	ちらし寿司
イベント	コンサート・舞踊・ダンスなど	随時
外出レク	花見・外食・買い物・動物園の外出	随時
上映会	邦画・洋画の映画を見る会	毎月第2金曜日
移動パン屋さん	好きなパンの購入	第1・3・4水曜日

(2) クラブ活動

趣味や得意分野を生かして頂く活動

クラブ名	内 容	開催頻度
囲碁クラブ	・初心者には入門教室がある ・囲碁仲間が集まり碁を楽しむ	週 1 回
昭和歌謡クラブ	・懐かしの昭和の歌謡曲を歌う ・声を出すことでストレスを発散 ・好きな歌を好きなだけ歌える	月 2 回
書道クラブ	・筆を持って書にかく ・季節に合わせた文字にかく	月 1 回
音楽クラブ	ピアノ演奏に合わせてなじみの唱歌を歌うことで楽しみにつなげる	毎月 1 回
美容クラブ	・美容部員の方と一緒に化粧をする ・香りや化粧動作がリハビリにつながる	隔月
手芸クラブ	日本の風習にちなんだ手芸品を作る	4 回/年
シネマクラブ	懐かしの邦画・洋画を見る会	月 1 回

VI.職員研修計画と活動

(1) 定例研修・学習会

職員のスキル向上のための研修および勉強会

実施月	研修内容	主催
4 月	バイタル測定の基本と、感染症対策について	看護師
5 月	コロナウィルス感染予防に関する研修（新マニュアル）	フロア責任者
6 月	高齢者虐待防止（身体拘束）と不適切ケアに関する研修	施設長
7 月	介護保険制度	圓居宅事業所管理者
8 月	事故の発生またはその再発防止に関する研修	事故防止委員会
9 月	救命救急と緊急時の対応	研修チーム
10 月	感染症の予防・蔓延防止に関する研修と事例検討	看護師
11 月	高齢者の安全な食事に関する研修	菅原栄養士
12 月	褥瘡および看取りに関する研修	看護師
1 月	認知症に関する研修	施設長
2 月	事故の発生またはその再発防止に関する研修	事故防止委員会
3 月	認知症に研修	研修チーム
随時	介護技術などの勉強会	研修チーム

(2) 会議

意見交換や話し合いを通じて良い施設づくりを進める

会議	出席者	開催頻度	主催
定例会	施設長、事務長、マネージャ、専門職、介護チーフ・リーダー	毎月第1木曜日	施設長
給食会議	事務長、施設長、給食業者	毎月第4木曜日	栄養士
フロアー会議	介護マネージャ・チーフ 介護リーダー・スタッフ	月2回	マネージャ・チーフ
ナース会議	看護師、施設長、栄養士	毎日	看護チーフ
カンファレンス サービス担当者会議	介護マネージャ、チーフ 介護スタッフ（居担）、 栄養士、看護師、ご家族	随時	介護支援専門員
多職種連携会議	介護、相談員、CM、看護師、 栄養士、機能訓練士	毎週木曜日	施設長

(3) 委員会

意見を出し合い取り組みや改善を目指していく

委員会	内容	開催日
入退所検討委員会	① 川崎市の指針に合わせた入居者選び面談を行う ② 面談シートに基づき入所判定を行う	1回/3ヵ月
事故再発防止委員会	① 発生した事故検討と再発防止の提案 ② 再発防止後の再評価を行う	月1回
感染予防委員会	① 食中毒および感染症防止の検討 ② インフルエンザ、コロナウィルスなど感染症防止の啓発活動	1回/3ヶ月
身体拘束廃止委員会	入居者様の尊厳ある生活をして頂くためにも安易な身体拘束をしないことを施設全体として取り組む	月1回
褥瘡予防委員会	① ハイリスク者の把握する取り組み ② 予防のための計画の作成と評価	1回/3ヵ月
防災委員会	① 年2回の避難訓練を実施 ② 安心して働く環境づくり（防犯を含む）	

(2) プロジェクトチーム

スタッフ自身が企画運営していくプロジェクトチーム

福祉研究大会	令和3年福祉研究大会参加のための取り組み	隔月
介護技術向上	介護職として必要な研修の計画を立てる	随時
働き方改革	環境を整え働きやすい職場を考える	月1回
新規採用	新卒採用のため学校訪問など	随時
秋祭り	納涼祭→秋祭りへ移行(11月)	随時

《 みどりの丘が目指すもの 》

2020年はオープンから10周年を迎える記念すべき年です。
国でも東京オリンピック、パラリンピックが開催予定の
歴史的な年でしたが新型コロナウイルス感染症の発症は世界的な
パンデミックの状態になり、混沌とした事態になっています。

振り返れば、10年前のオープン当時も平たんなスタートではありません
でした。思ってもみなかったこと、想定外なことばかりでした。
今回も新たなウイルスとの戦い、治療薬の
特に医療と介護では大きな影響を
受けることは必須の状況です。
困難に立ち向かう時 何が一番大切なのか？
それは基本に戻ること。
基本ができたうえで次なる課題に立ち向かうことです。

いつのまにか月日は経ち
私たちは挨拶のできるやさしいスタッフと言われるようになりました。
みどりの丘に入居されている方は笑顔で楽しそうに暮らしているねと
言って頂けるようになりました。
何もできないと思ってやってきたことですが
挨拶・笑顔・誠実が一番大切なことだと気づきました。
継続してきたことが今日の自信に繋げることができました。

困難に立ち向かうことを経験した私たちは未来を見つめながら
20年に向かって歩みつづけて行こうと思います。

